



市町村と連携室を結ぶ情報紙

地域連携室だより

平成26年11月18日発行

福島県県中地方振興局
復興支援・地域連携室(担当:山口)
TEL(024)935-1217
E-mail kenchu.chiikirenkei@pref.fukushima.lg.jp

内容

- 新生ふくしま復興推進県中地方本部会議開催
- 県中地方本部の重点取組

第8回新生ふくしま復興推進県中地方本部会議を開催しました！

☆ 第8回会議の開催 ☆

県中管内の県機関をはじめ、市町村からも出席いただき、平成26年10月10日に「第8回新生ふくしま復興推進県中地方本部会議」を開催しました。

会議では、各市町村と県機関における復興に向けた取組内容と、その進捗状況についての説明とともに、参加者から質問や要望等を伺いながら意見交換を行い、今後の各取組の実施に向けた情報共有を図りました。

また、来年春にはじまる「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に向けて市町村と一丸となった事業展開が図れるようこれまでの取組の事例発表と今後の取組内容について説明を行いました。

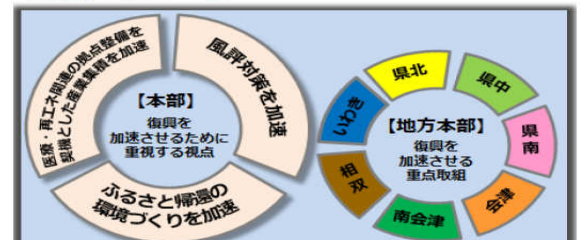
☆ 県中地方本部の重点取組 ☆

平成26年4月1日より避難指示区域が解除された田村市都路地区における住民の帰還、地域コミュニティの再生や営農・商工業再開が喫緊の課題であることから、「新生ふくしま復興推進県中地方本部」の重点取組の一つとして「田村市都路地区の再生支援」を加えることとしました。

会議の様子(郡山合同庁舎) & 観光キャンペーン事例集



※推進イメージ



<復興計画12の重点プロジェクト>

安心して住み暮らし	ふるさとで働く	まちづくり、人とながる
環境回復	農林水産業再生	ふくしま・きずなづくり
生活再建支援	中小企業等復興	ふくしまの観光交流
県民の心身の健康を守る	再生可能エネルギー推進	津波被災地等復興まちづくり
未来を担う子ども・若者育成	医療関連産業集積	県土連携軸・交流のり-7基盤強化

～「新生ふくしま復興推進県中地方本部」3つの重点取組の主な事業のご紹介～

① 広域観光の推進

ふくしまデスティネーションキャンペーンを契機として、市町村や関係団体と連携した取組を実施しています。

(今年度の主な事業)

- ふくしまど真ん中！元気プロジェクト
「おもてなし女子駅弁」、プレDCでの「全国宣伝販売促進会議」でのPRなど実施しています。
- 首都圏等へのメッセージ発信強化事業
- 地域づくり総合支援事業(サポート事業)

温泉・旅番組制作中です！(首都圏等へのメッセージ発信強化事業)



東京で11/29に放送予定！！

② 「県産農林水産物の安全性PRと消費拡大推進」

各機関・団体と連携して県産農林水産物の安全・安心のPR活動を行うとともに、地産地消の推進や県外での消費拡大を図っています。

〈今年度の主な事業〉

○安全・安心PR及び消費拡大・販売促進事業

親子で学ぶ食の魅力体験イベント

ぼくらは『アグリメッセンジャー☆AGM』

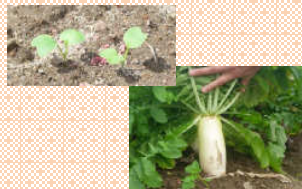
「大根」という1つの農産物の播種、収穫、「たくあん」への加工を体験することで、県産農産物と農山村をより身近なものとして再認識してもらうとともに、安全性への理解促進を図るため、全3回の予定で体験企画を開催しています。

○みんなのチカラで農林水産物づくり事業

「がんばろう！ふくしま」応援店の拡大、スーパー等でのキャンペーンなど実施しています。

○学校給食おいしい県産農林水産物活用事業など

大根の種まき→収穫→たくあん(安全・安心PR事業)



詳しくは「県中農林事務所」のホームページを見てね！！

「たくあん」への道

ぼくらは「アグリメッセンジャー☆AGM」

今日は、「アグリメッセンジャー」第2回【大根を収穫しよう】の日。収穫を楽しみにしていた気持ちが、太陽に届いていたのかな。

畑に着いたら、大根の葉っぱがモサモサ！よく育ったね。さっそく農家さんに、収穫のやり方を教えてもらいながら、1本1本収穫しました！もう、太くてビックリ！！

収穫した後は、大根を1本ずついいねいに洗って、葉のところで2本一緒にしばって、農家さんの家の軒先に干しました。大根のカーテンみたい。ここから、大根は「たくあん」になっていくんだ！



③ 「田村市都路地区の再生支援」

避難指示が解除された都路地区への住民の帰還、地域コミュニティ再生、営農・商工業再開に向けた支援を行っています。

〈今年度の主な事業〉

○都路地区再生支援事業

○福島県営農再開支援事業

『福島県営農再開支援事業』

放射性物質の吸収抑制対策、鳥獣被害対策、水稲作付け再開支援など実施しています。

Domo(仮設商業施設)営業中!(都路地区再生支援事業)



『地域コミュニティ再生支援員』

仮設の商業施設 Domo (H26.4 開店) に「地域コミュニティ再生支援員」として3名を配置し、食料品等の販売店達から、都路地区の住民の皆さんからの相談に応じております。

子ども「ふるさと福島」魅力発掘コンテストに向けて奮闘中!

子ども達による旅行プランのコンテストが来年1月※に開催されます。

旅行プランの内容だけでなく、その魅力を余すところ無く伝えるプレゼンテーション力も評価の重要な要素となっています。現在、コンテストに向けて、小学生から高校生までの14の団体が奮闘しています。今回は、県中地域の2つの団体をご紹介します。



○田村市立美山小学校 4年生 10名

「たむらのすてき、すごい」を3つの色でまとめています。「ピンク」は桜、「みどり」はエコと自然、「あお」は空と水 そんな田村のすてき、すごいをみんなで調べて発信したいです。



あぶくま洞



滝根小白井(仮)7号(風力発電)



ムシムシランド

○寺子屋KID'S みはる 小学生 22名

今から36年前の県立田村高等学校美術部の方々が制作した「昔を今に伝える「三春いろはかるた」」を手がかりに三春町を紹介します。



明德門(三春小前)



華正院 馬頭観音堂



地元郷土料理の試食
三角あげ・三春素麺

事業等の詳細につきましては、専用のホームページ(<http://www.kodomo.fukushima.jp/>)をご覧ください。

※開催予定日 平成27年1月21日(水)10時~ 郡山文化センター中ホール(予定)